

## 血尿について 尿に血（赤血球）がまじること

血尿には目で見て赤い（焦げ茶色から朱色、赤ワイン色）ものと、健康診断で指摘される尿潜血反応陽性、または顕微鏡で観察してみえる顕微鏡的血尿（高率の倍率で一つの視野に 3 個以上の赤血球を認めるもの）をいいます。健康診断で、尿潜血反応陽性と言われたときに実際に尿に血が混じっているのは約 60%です。いずれにしても尿に赤血球が混じっていることを血尿と言います。なお、尿のとりかたによっても血尿がみられるときがあります。女性の生理中や、ほんのわずかしこ取れない尿での検査はあてになりません。

尿に血が混じるのは体のどこからくるのでしょうか。要するに尿が作られるところ（腎臓の実質）、尿が流れるところ（腎臓の中の腎杯、腎盂、尿管、尿道）または尿をためるところ（膀胱）ところからです。

血尿の原因として考えられる病気は何でしょう。

1. 尿路感染症：膀胱炎、前立腺炎、腎盂腎炎
2. 尿路結石：腎結石、尿管結石、膀胱結石
3. 尿路の癌：腎臓癌、腎盂・尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、尿道癌
4. 腎臓の炎症：糸球体腎炎、腎症など
5. その他：遊走腎、尿路の奇形、特発性腎出血

血尿で怖いのは無症候性肉眼的血尿です。なぜなら、血尿以外に排尿時の痛み、頻尿、残尿感、尿が出にくいなどの症状が見られるときは感染症を疑い、背中、脇腹や下腹部の痛みを伴うときは腎、尿管結石を疑います。尿路の癌の時は、突然血尿がみられますが、たいていの場合様子をみているうちに血尿が消失してしまうことが多いからです。

血尿がみられたらどんな検査をするのでしょうか。

- ・詳しく症状を聞きます。
- ・尿検査：中間尿を顕微鏡でみます。
- ・悪い細胞や細菌がないか調べます（尿細胞診と尿培養）。
- ・超音波（エコー）：腎臓、膀胱、前立腺
- ・レントゲン写真：単純写真、場合により造影剤をつかって撮ります。

血尿以外に症状がないときは、大人なら膀胱ファイバーを行うこともあります。